お客様へ：真心をこめて…「ありがとうございます。」

KAAZ カーツ株式会社

本　　社 〒704-8588 岡 山 市 東 区 西 大 寺 五 明 3 8 7 － 1 【 営　　業 】TEL.(086)942-1118　FAX.(086)942-1120
【受注・問合せ】TEL.(086)942-1117　FAX.(086)943-9364
東日本営業所 〒981-3361 宮城県黒川郡富谷町あけの平1－12－1－101　TEL.(022)779-0360　FAX.(022)779-0361
九 州 営 業 所 〒862-0911 熊本県熊本市健軍2丁目11番58号 ライズ神水(ｸﾜﾐｽﾞ)1F　TEL.(096)285-4331　FAX.(096)285-4330
カ ー ツ 台 湾 中華民国台湾省台中縣神岡鄉中山路360巷7号

【ホームページ】http://www.kaaz.co.jp/　　【 Ｅ メ ー ル 】kaaz@kaaz.co.jp

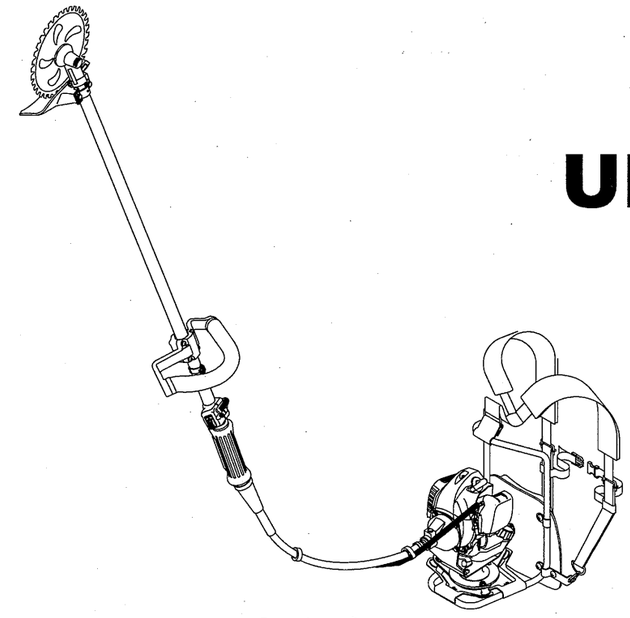
●お買い上げありがとうございました。
●ご使用前に必ずお読みください。
●この取扱説明書は大切に保管してください。

取扱説明書

KAAZ

背負式刈払機

URP260



はじめに

●この取扱説明書は、『**カーツ背負式刈払機**』の正しい取扱い方法と使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前に必ず、よくお読みいただいて十分理解したうえ、正しくご使用ください。

●また、作業で起こりやすい事故を未然に防止し、安全作業するための重要な注意事項に⚠印の『**警告サイン**』を付しています。
よく読んで必ず守ってください。

●お読みになったあとも大切に保管してください。

●接続されるエンジン、刃物の取扱いについては、その説明書を必ずお読みください。

●刈払機は雑草を刈るために設計・製造されています。枝打ち作業等、他の目的には絶対に使用しないでください。

●刃物・チップソー・ナイロンカッターは雑草刈りに使用してください。灌木や木を切らないでください。

●機械は絶対に改造しないでください。

●品質・性能向上あるいは安全上，製品の仕様変更などにより、本製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、
あらかじめご了承ください。

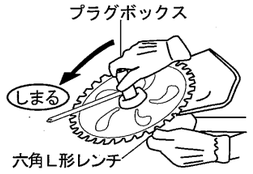
⚠ 注意
この取扱説明書で示す重要な安全指示事項は、起こり得る全ての状況や状態を表すものではありません。
製品の安全性には十分気を配っておりますが、作業する方や保守をする方も安全には十分な注意・配慮をお願いします。

46012-418
10-09

必ず守ってください

⚠危険 刃物の取り付け又は交換するときは、必ず当社手配の付属工具（プラグボックス）を使用し、適切な締め付け（下記締付力参照）をしてください。市販のレンチは使用しないでください。

ねじサイズ	締付力 N・m （kgf・cm）
M8	14.7～19.6（150～200）
M10	24.5～29.4（250～300）



－目次－

安全作業説明 …… 1
A. ラベルについて …… 4
B. 製品仕様 …… 5
C. 主な名称 …… 5
D. ご使用まえの準備 …… 6
E. 組立 …… 7
F. 刃物の選定 …… 9
G. 使用燃料 …… 9
H. エンジンの始動と停止 …… 10
I. 操作方法 …… 13
J. 気化器（キャブレター）の調整 …… 14
K. 手入れのしかた（エンジン） …… 14
L. 始業点検・定期点検整備一覧表 …… 15
M. 点検・整備 …… 15
N. 長期格納のしかた …… 15
O. 故障・修理早見表 …… 16

⚠安全作業説明 お客様の安全をまもる

●安全作業をするために

この中で説明している守っていただきたい注意事項は『カーツ背負式刈払機』の作業全般についてのものですが、これ以外にも本文の中で『⚠警告サイン』として説明の都度取り上げています。

この取扱い説明書で示す重要な安全指示事項は、起こりえる全ての状況や状態を表すものではありません。機械の安全性には十分気を配っておりますが、作業する方や保守をする方も十分な注意・配慮をお願い致します。取扱説明書は必ず保管してください。

●機械を人に貸すときは・・・

- 他人に機械を貸すときには、「取扱説明書」をよく読んでもらい取扱い方法や本書に書かれている安全作業ポイントをよく理解してから作業するように指導してください。
- 機械と一緒に「取扱説明書」を貸してあげてください。
- 親切心から機械を他人に貸して、借りた人が不慣れなために思わぬ事故を起こしたりすると、せっかくの親切があだとなってしまいます。

●オプション部品をご使用の時は・・・

- 当社カタログ及び、取扱説明書に記載してある指定のオプション品を販売店でお求めください。
- 特に、刃物は危険ですので当社指定のJIS規格の適合品をお求めください。
- 指定以外のオプション品で思わぬ事故を起こしたりすると、取り返しのつかない惨事を招くことになります。
- その他不明な点は販売店にご相談の上、取扱い上の注意を十分理解した上でお使いください。

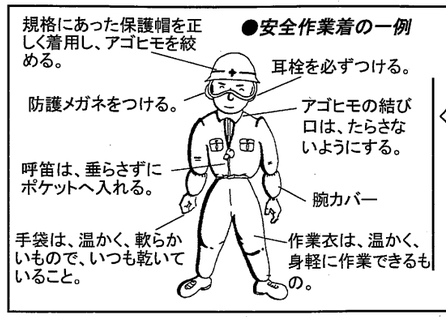
●使用上の注意

1. ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱上の注意事項をよくご理解ください。
2. 雑草刈り専用です。枝打ち作業等、他の目的には使用しないでください。刃物が割れる等により人身事故を引き起こす原因になります。
3. 疲れているときは、刈払機を使用しないでください。作業中疲れた時は、作業を中断し休憩してください。
4. 酒を飲んでいる人、薬物の影響のある人、また妊娠している人は、機械を操作しないでください。
5. 子供や刈払機の知識のない人に機械を操作させないでください。
6. 次のような場合はお使いにならないでください。
   - 夜間や霧など作業現場周辺の安全確認が困難な場合。
   - 悪天候時（雨天、雷、強風、霧）の作業は足下が滑りやすいので避けてください。
7. 傾斜地や足場の悪い場所での作業は避けてください。
8. 初めてご使用になる場合、実作業に入る前に熟練者からの取扱い指導を受けてください。
9. 暑熱寒冷の時は、長時間の作業は避けて、十分な休息をとってください。
10. 屋内または鉱内など、換気の悪い場所での作業はしないでください。排気ガスは有毒です。エンジンの排気ガスは吸わないように注意してください。
11. 1日の作業時間は2時間以内とし、30～40分作業したら10分間休憩をする等、健康管理をしてください。
12. 取扱説明書は必ず保管してください。

●*服装・装備*

本製品をお使いになる際は、野外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

1.長袖、長ズボン（裾じまりのよいもの）
2.手袋(厚手で丈夫なもの)
3.防護メガネ
4.保護帽 （ヘルメット等、JIS規格などの相当品）
5.安全靴等（すべり止めの付いたもの）
6.耳栓



●*使用前の注意事項*

1. 作業者から半径15m以内は危険区域です。この中に人が立ち入らないよう標識ロープで囲む、立て札を立てる等の警告表示をしてください。
2. 作業者に近づくときは、15m以上離れた位置から合図し、エンジンおよび刃物が停止した後、前方から近づいてください。
3. 作業場所の空缶・針金・小石・ビン等を取り除いてください。機械の故障の原因となるだけでなく、人身事故や物損事故および死亡事故を引き起こす原因となります。
4. フェンスなどの近くでは作業しないでください。
5. 機体各部を点検し、ねじ類などのゆるみ、グリス・燃料の漏れ，損傷、変形などの異常がないことを確認してください。特に刃物締付ナット・ギヤケース締付ねじはよく調べてください。異常発見の場合は、修理を行ってください。絶対に異常があるまま使用しないでください。
   点検するときは、機械を平坦な場所に置き、エンジンを停止してから行ってください。
6. 空気の取入れ口や出口にゴミなどがつまっていないか確認してください。エンジンは空冷式です。冷却用空気の通り道がふさがれていると、オーバーヒートの原因になります。
7. エアクリーナが汚れていないか調べてください。エアクリーナの汚れは、運転状態や燃費に影響します。
   マフラーやエアクリーナカバーを外したままエンジンを運転しないでください。（特にマフラーは、取付けねじの弛み、破損や漏れを定期的に検査し、異常があれば、修理・交換してください。）
8. 点火プラグを点検してください。
9. エンジンを始動するときは、点検などで取外したねじ・ボルト・ナット等すべて取付けてください。
10. 刃物は「欠け」「ひび割れ」「まがり」等の異常がないものを使用してください。異常がある場合は、絶対に使用しないでください。
    （異常がある刃物を使用すると、人身事故や死亡事故を引起こす原因となります。）
11. 刃物の取付・取外し時は、本書または刃物付属の取付け指示に従って正しく取付けてください。安全の為、厚手で丈夫な手袋を着用し作業してください。
12. セーフティーガード（飛散防止カバー）、ショルダーバンド（肩掛けバンド）は必ず取り付けてください。
13. エンジンの始動、停止時、移動時は、常にスロットルレバーをアイドリング位置にしてください。レバーがアイドリング位置以外になっていると、刃物が回転し始めてしまうので、非常に危険です。

●*燃料・給油に関する注意事項*

1. ガソリンは火気に充分注意をして取扱いください。（爆発の危険性があります。）
2. 変質した燃料、（酸っぱい匂いがする。）誤った混合比の燃料は使用しないでください。（始動不良や出力不足等のエンジン不調の原因となります。）
3. 燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。
4. エンジン運転中又は、エンジンが熱いときに燃料タンクキャップを外したり給油をしないでください。（燃料などに引火して火災の原因となります。）
5. 燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。（燃料を入れ過ぎると、燃料が漏れ火災や爆発の原因となります。）
6. 燃料補給した後は、確実に燃料キャップを締めてください。（燃料が漏れると、火災や爆発の原因となります。）
7. こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。（衣服の汚れや火災の原因となります。）
8. 燃料は適切な容器に貯蔵し、涼しい場所に保管してください。

●*運搬時の注意事項*

1. 運搬及び作業場所の移動時には必ずエンジンを停止し、刃物を前向きにして持ち運んでください。
2. 刃物には付属の移動カバーを装着してください。ただし、ナイロンカッターご使用の場合、移動カバーは不要です。
3. 肩にかけたまま、自転車やバイクの運転は絶対にしないでください。転倒等による傷害事故を引起こす原因になります。
4. 車で運搬する場合は、機械を荷台にしっかりと固定し、刃物を外すかまたは移動カバーを取付けてください。

●*エンジン始動時の注意事項*

1. エンジンを始動するときは、周囲（機械から15m以内）に人やペットがいないことを確認してください。また、作業者から半径15m以内は危険区域です。人やペットを近づけないようにしてください。また、数台同時に作業する時もこの距離を守ってください。
2. 始動は、燃料を入れた場所から少なくとも3m以上離れて行ってください。燃えやすいものの近くにマフラの排気口を向けないでください。
3. リコイルスタータを引くときは、後方に障害物がないことを確認してから行ってください。
4. 屋内・換気の悪い場所での運転をしないでください。エンジンの排気ガスは有毒です。排気ガスを吸わないでください。
5. 始動時に刃物が回転する場合がありますので、刃物が地面や他の物に触れないようしっかり保持してください。
6. 機体を持ち上げたままで始動しないでください。安定した地面の上で始動してください。
7. 遅れてエンジンが始動する事があります。始動するまで、機械を押えていてください。

●エンジン停止時の注意事項

1. 高速回転で運転中に急に停止させることは、エンジンに無理がかかり、故障の原因となります。緊急時以外は、スロットルレバーを低速位置に戻してからエンジンを停止させてください。
2. 本機を置くときは平坦な場所を選び、エンジンの燃料タンクキャップが燃料につからないよう安定した姿勢で置いてください。
3. 火傷防止のため、作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくエンジン本体、マフラー等に触れないでください。

●作業時の注意事項

1. ハンドルやグリップはしっかり握り、両足を適当に開いて体重のバランスを取りながら作業してください。正しい作業姿勢を守らないと、転倒したりして人身事故や死亡事故を引き起こす原因となります。
2. エンジンの回転速度はむやみに上げずに使用してください。エンジンの回転速度を上げる場合は急激に上げず、徐々に上げてください。
3. 作業中や刃物が回転しているときに手や足を近づけないでください。特に本機に付着した泥、草等の巻き付きを取り除くときには、必ずエンジンを停止し、刃物の回転が止まったことを確認してから行ってください。
4. 作業中刃物が硬いものに当った場合、直ちにエンジンを停止し刃物の回転が停止したことを確認した後点検してください。『欠け』『ひび割れ』『曲がり』など異常があった場合は作業を中止し、必ず新しい刃物(JIS規格等の適合品)と交換してください。
5. 作業中に立ち話は絶対にしないでください。人身事故・死亡事故を引き起こす原因となります。
6. 作業中に後方から声をかけられた時は、エンジンを停止して完全に刃物の回転が停止してから振り向いてください。
7. 危険を感じたときは、緊急離脱ベルトを引っ張り本機をショルダバンドから切離し本機から離れてください。
8. 電気ショックを受ける可能性があるので、作業中は点火プラグキャップ部に触れないでください。
9. 作業中に素手でエンジン本体・マフラー等に触れないでください。火傷をすることがあります。
10. 異常振動が発生した場合は直ちにエンジンを停止し、点検・修理をしてください。

●点検・整備上の注意

1. 掃除・点検・整備は、安全の為、厚手で丈夫な手袋を着用し作業してください。
2. 掃除・点検・整備は、本機を平坦な場所に置いてエンジンを停止して刃物の回転が止まってから行なってください。また、エンジン停止直後は、エンジン本体・マフラー等が高温のため火傷の危険があります。
3. 全体のチリやホコリをよく取り除いてください。特にエアクリーナ・エンジンの空冷風取入口・刃物周辺の整備をしてください。残っていると、機械の不調の原因やエンジンの焼き付きの原因となります。
4. エンジンの設定回転をむやみに調整しないでください。
5. 各部の締付ねじにゆるみのないこと、刃物に損傷がないことを点検し、異常があれば絶対に使用せず、修理・調整をしてください。
6. 刃物は当社指定(JIS規格等の適合品)のものと交換してください。欠け・ヒビ・曲がり等のある刃物は人身事故の原因となります。
7. 燃料漏れ・グリス漏れがないか点検してください。漏れがあると火災や機械の故障の原因となります。漏れがある場合は修理してください。
8. 修理・点検のときはプラグキャップを外してください。外しておかないと、不意にエンジンが動き出す等、思わぬ事故の原因となります。
9. 製品の改造・分解等はしないでください。正常な作業が出来なくなったり、運転中に機体が破損するなどして、障害事故を起こすことになります。
10. 取外した部品は全て取付けてからエンジンを始動してください。
11. 定期点検整備一覧表に記載されていない部所の点検整備は『販売店』にご用命ください。
12. 部品または本機を廃棄するときは『販売店』にご相談ください。

●長期格納の注意事項

1. 長期保管時は、燃料を必ず抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料中の不純物が気化器や燃料フィルタ等の燃料通路につまり、エンジン不調の原因となります。
2. 損傷箇所のある場合は修理をしてから、格納してください。この場合、部品・消耗品は全て当社指定の純正部品を使用してください。なお、エンジンに関しては別冊のエンジン取扱説明書を参照ください。
3. 刃物によるケガ防止の為、刃物には付属の移動カバーを取り付けて格納してください。(ただし、ナイロンカッターをご使用の場合、カバーは不要です)
4. 各部を十分清掃し、金属部分には軽くオイルを塗ってください。
5. 保管は湿気の少ない場所にチリやゴミが付着しないよう本機にシートをかけて保管してください。本機にシートカバーをかけるときは、エンジンが冷えてから行なってください。エンジンが熱いときにシートカバーをかけると、火災の原因になることがあります。

●『マーク』について

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について下記の『マーク』を使用して説明しております。

⚠危険	:注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	:注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	:注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
取扱いのポイント	機械の性能を最大限に発揮するための説明をしています。守らないと本来の性能を発揮できません。また故障の原因になることがあります。

A.ラベルについて

安全な取扱いについて説明している「⚠印付警告ラベル」を機械に貼付しています。
安全上、特に重要な項目を表示しておりますので、記入内容を守り、安全な作業をしてください。

●ラベルのメンテナンス

- ○ ラベルを全て読んでから使用してください。
- ○ ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
- ○ ラベルが破損したり、塗料が付いたり、または読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。
- ○ ラベルが付いている部品を交換する場合は、新しいラベルも一緒に付けてください。
- ○ ラベルは機械のお買い上げ先に注文してください。
- ○ ラベルを貼る場合は、汚れを完全に拭取り、乾いた面にして元の位置へ貼ってください。

●注意表示について

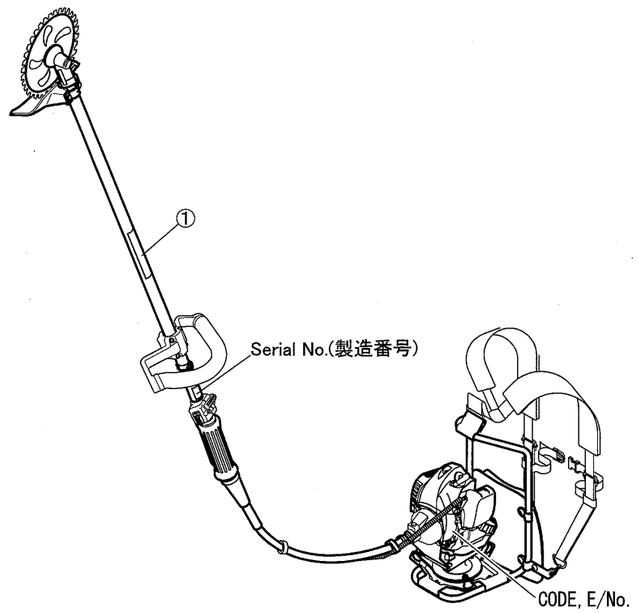
⚠危険	注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。

①品番 46007-341

● Serial No.(製造番号)ラベルについて

- ○ この「刈払機」には「Serial No.(製造番号)」ラベルが貼付してあります。
  また、エンジンにも型式・製造番号を示す「CODE,E/No.」ラベルが貼付してあります。
- ○ サービスについてのお問い合わせや部品などのご用命の際には「型式名」「Serial No.(製造番号)」などが必要となることがありますので、必ず貼ったままにしておいてください。

【貼付位置】



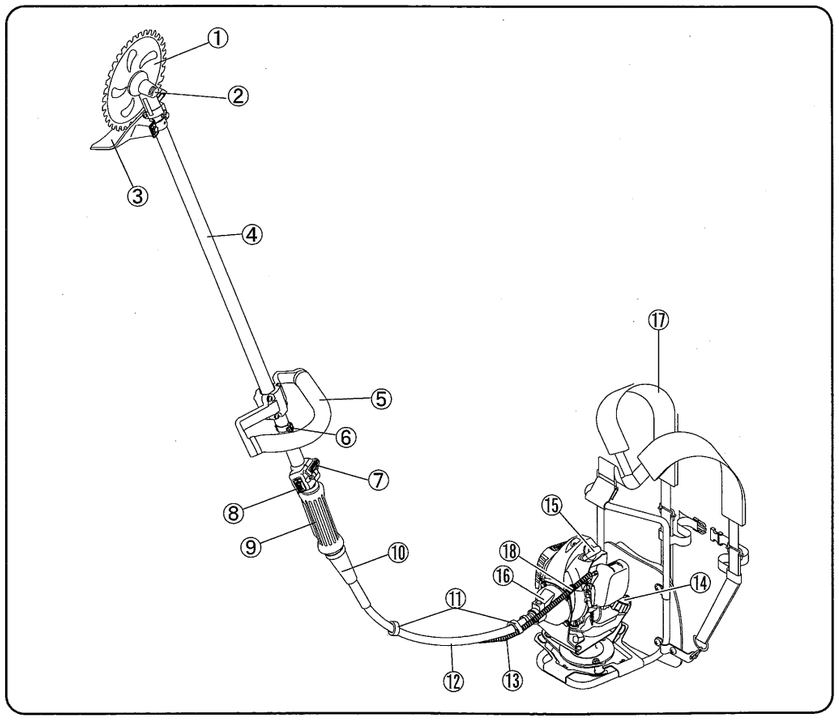
B. 製品仕様

⚠警告	機械は改造しないでください。改造すると機械の性能に悪影響を与えるだけでなく、人身事故の原因になることがあります。

- 改良等のため、この仕様は予告なく変更することがあります。
- 安全の為、当社指定の刃物をご使用ください。
- ※2サイクル専用オイルは、JASO（FC,FD級)オイルを使用してください。

	型式	URP260	
本機	伝達方法	自動遠心クラッチ・スパイラルベベルギヤ	
	減速比	13:19	
	刃先回転方向	左(上視)	
	ハンドル仕様	シングルハンドル(ループハンドル)	
	スロットルレバー	固定タイプ	
エンジン	型式名	TB23	TB26
	形式	空冷2サイクルピストンバルブ式ガソリンエンジン	
	総排気量(cm3)	22.5	25.4
	出力(kW)	0.88	1.10
	気化器	ダイアフラム式	
	点火方法	トランジスタ点火方式TCI /点火プラグ(NGK BM6A)	トランジスタ点火方式TCI /点火プラグ(NGK BPM7Y)
	始動方法	リコイルスタータ式(ミラクルスタート装備)	
	使用燃料	混合比（ガソリン：２サイクル専用オイル※）=５０：１	
	燃料タンク容量(ℓ)	0.5	0.9
重量(kg)		7.2	7.4
メインパイプ部長さ		1，563	
フレキ長さ		880	
標準指定刃物(mm)		チップソー(φ230mm)	チップソー(φ255mm)

C. 主な名称



1. 刃物
2. ギヤケース
3. セーフティガード（飛散防護カバー）
4. メインパイプ
5. シングルハンドル（ループハンドル）
6. ハンガバンド
7. スロットルレバー
8. ストップスイッチ
9. メイングリップ
10. プロテクションラバー
11. ワイヤホルダ
12. フレキ
13. 保護チューブ（スロットルワイヤ+リード線）
14. 燃料タンクキャップ
15. 点火プラグ
16. クラッチケース
17. ショルダバンド（肩掛けバンド）
18. ガイド

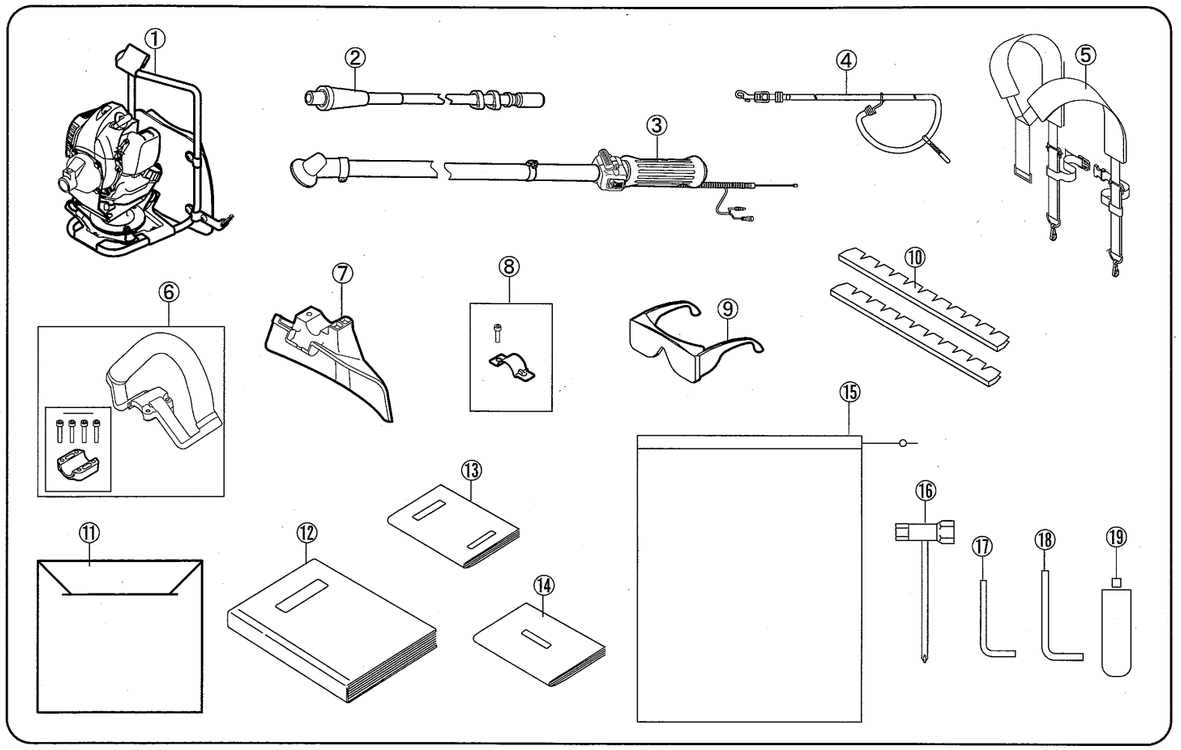
D. ご使用まえの準備

この梱包ユニットは運送中や保管中のダメージ（損傷）を避けるため、工場で細心の注意を払って梱包しています。
下記の項目に注意しながら開梱してください。

a 荷箱からそれぞれの部品を取出します。
b 下記の部品があることをチェックします。
c ダメージ（損傷）の有無をチェックします。

※もし、部品の入れ忘れやダメージ（損傷）があれば直ちに販売店へ連絡してください。

●梱包部品と名称



No.	部品名称	個数
1	背負部(エンジン部)	1
2	フレキシブルシャフト	1
3	本機	1
4	ハンガバンドCP(吊ひも)	1
5	ショルダバンド(肩掛けバンド)	1
6	シングルハンドルセット(ループハンドル)	1
7	セーフティガード(飛散防護カバー)	1
8	ｾｰﾌﾃｨｶﾞｰﾄﾞﾊﾞﾝﾄﾞｾｯﾄ(飛散防護ｶﾊﾞｰﾊﾞﾝﾄﾞｾｯﾄ)	1
9	防護メガネ	1
10	移動カバー	1

No.	部品名称	個数
11	刃物	1
12	取扱説明書	1
13	取扱説明書(E/G)	1
14	保証書	1
15	収納袋	1
16	プラグボックス13×19+ドライバ付	1
17	六角L形レンチ 4mm	1
18	六角L形レンチ 5mm	1
19	グリス	1

E. 組立

⚠ 注意	・他梱包部品の取り付け時、再度取り付け状態（ねじのゆるみ等）をチェックしてください。 ・他梱包部品の取り付け時、各部品を正しく取り付けてください。取り付けを誤ると事故を招く恐れがあります。 ・ご自身で組立が困難な場合はお買い上げ店にご相談ください。

この背負式刈払機は背負部（エンジン部）・フレキシブルシャフト部・メインパイプ部の3部に分かれています。下記の要領と順序で組み立てます。

●背負部(エンジン部)とフレキシブルシャフト部の接続 （図-1）

1. クラッチケースのピン①の位置にフレキケースエンドのピン差込穴を合わせクラッチドラムボスの四角穴の向きに合わせます。
2. ピン①をつまみ上げ、上記の状態でまっすぐ、ゆっくりとクラッチケースにフレキケースエンドを挿入します。
3. ピン①を、フレキケースエンドのピン差込穴に挿入します。
4. 組付後、確実にピン①が差込穴に入ったかどうか、フレキケースを引張ってみて、抜けないことを確認してください。

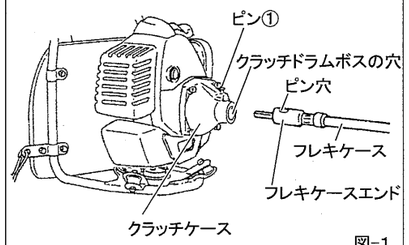


図-1

●フレキシブルシャフト部とメインパイプ部の接続 （図-2）

1. フレキケース抜止め用ボルト①をゆるめ、取り外します。
2. フレキシャフトを引き出し、フレキコネクタ奥にあるシャフトコネクタをかみ合わせ、奥まで完全に差し込んでください。
3. プロテクションラバーをめくってから、フレキコネクタにフレキケースエンドをきちんと奥まで差し込みます。次にフレキケース抜止ボルト①をフレキコネクタに取り付け確実に締付けます。

※ 締付後、フレキケースを引っ張ってみて、抜け止めがきちんとなされていることを確認してください。

4. めくったプロテクションラバーを元に戻してください。

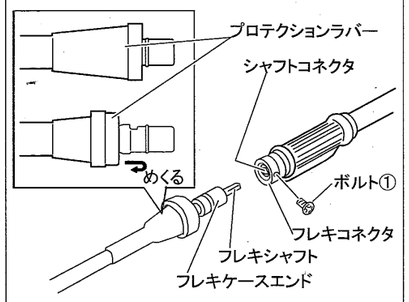


図-2

●ハンドルの取付 （図-3）

1. 作業者の作業姿勢に合った最良の位置にシングルハンドル（ループハンドル）を位置決めし、ハンドルブラケットを4本のボルトで均等にしっかりと締め付けます。

※ 取付け位置は右図注意ラベル①より後側（エンジン側）が目安です。

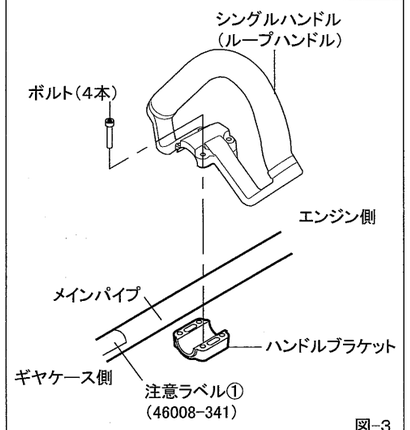


図-3

●スロットルワイヤ・リード線の接続 （図-4）

1. スロットルワイヤ先端をガイド、アジャスタの順に通し、キャブレタのワイヤホルダへ引っ掛け取り付けてください。
2. スロットルワイヤの遊びが0.5mm～1.0mmになるようにエンジンのアジャスタで調整してください。
（アジャスタの調整は10頁を参照ください）
3. リード線をエンジン側リード線と接続します。
リード線の端子をクランプに固定してください。

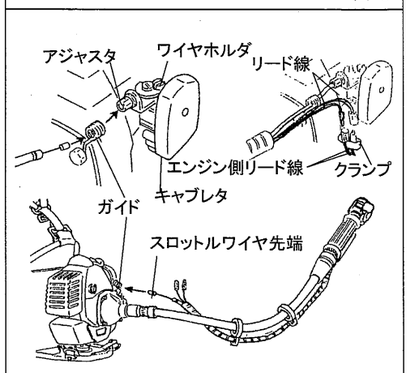


図-4

●セーフティガード（飛散防護カバー）の取付 （図-5）

1. 取り付け位置は、ギヤケースの凸（締め付けボルト）がセーフティガード（飛散防護カバー）の凹にはまる位置に取り付けます。
2. セーフティガードバンドの穴のない側を矢印のように差込み、ボルトでしっかりと締め付けセーフティガード（飛散防護カバー）を取り付けます。

⚠ 注意	・安全の為、セーフティガード（飛散防護カバー）は必ず正しい位置に取付けて作業してください。正しく取り付けられていないと、飛散物により人身事故を引起こす原因になります。

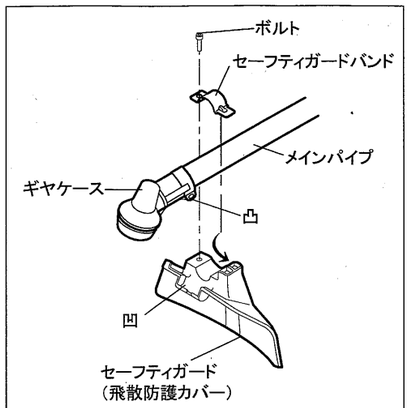


図-5

●ショルダバンド(肩掛けバンド)の取扱い （図-6）

・	ショルダバンド(肩掛けバンド)は作業者の体格に合わせて調整します。
・	背負部のフレーム下面が、作業者の臀部直上辺りに位置したとき、もっとも疲労度の少ない作業姿勢です。

ショルダバンド（肩掛けバンド）にはずり落ち防止のため、ウエストバンドが装備されています。作業するときには、図のようにウエストバンドを装着してください。

1. まず最初にショルダバンド（肩掛けバンド）のリング①を背負フレームのフック部に引っ掛けてください。
2. 背負部の高さ調整は、リング②の脱着によりワンタッチで変更できます。
3. ウエストバンドを腰の上辺りで締めてください。

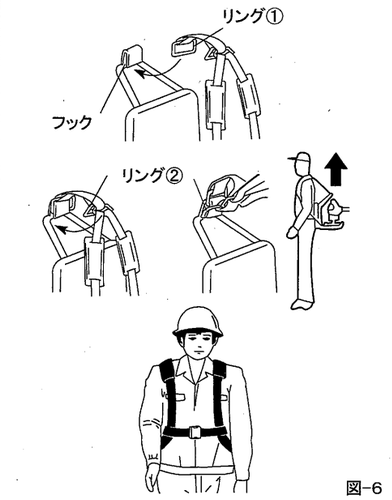


図-6

●ハンガバンドCP（吊ひも）の取付け （図-7）

作業に応じて、ハンガバンドCP（吊ひも）をお使いください。

1. ハンガバンドCP（吊ひも）をパイプ側のハンガバンドおよびショルダバンド（肩掛けバンド）のフックにそれぞれ引っ掛け、使いやすい長さに調整します。

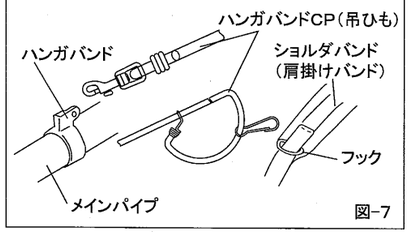


図-7

●刃物の取付（図-8）

1. カバーCP（刃受金具）・刃物・ホルダB（刃押え金具）・ワッシャの順にはめ込みます。
（刃物回転方向を合わせてはめ込んで下さい。）

2. 六角L形レンチでカバーCP（刃受金具）の回り止めを行ってセットボルトで締め付けます。（セットボルトは左ネジです。）
※この時刃物で手を傷つけないよう注意して下さい。

3. 刃物締付後、振れ・異音等がないことを確かめて下さい。
振れがあると回転中異常な振動がでます。
刃物の穴をカバーCP(刃受金具)の凸部に正しくはめて下さい。

⚠危険	・刃物を取り付けるときは、必ず付属工具（プラグボックス）を使用し、適正な（右表参照）締付けをしてください。 ・市販の大型レンチ等で締め付けると、規定締付力をオーバーし、ねじ部が破損することがありますので、絶対に使用しないでください。 ・刃物を取外すとき、土や石などがネジ部に入らない様しっかり掃除をしてから、セットボルトを緩めてください。土や石などがネジ部に入ると、刃物がしっかり締付けできない場合があります。

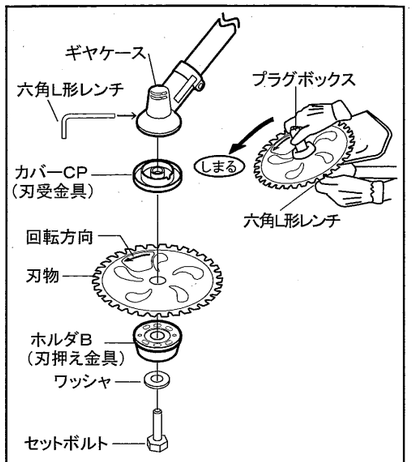
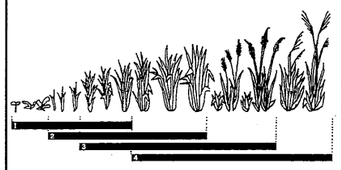


図-8

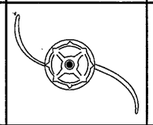
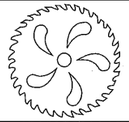
締付力	14．7～19．6 N·m （150～200kgf-cm）

F．刃物の選定

図に示す様に、刈る対象物に合った刃物を使用して下さい。



※当社指定の刃物をご使用下さい。

	1	2	3	4
名　称	ナイロンカッタ	4枚刃	8枚刃	チップソー
形　状				
指定刃物	ナイロンカッタ	直径230mm（TB23） 直径255mm（TB26）	直径230mm（TB23） 直径255mm（TB26）	直径230mm（TB23） 直径255mm（TB26）
適用範囲	柔らかい背の低い雑草まで	比較的背の低い雑草まで	ややかたい雑草まで	ややかたい雑草まで

⚠注意	草刈専用です。木や小枝は絶対に切らないで下さい。

G．使用燃料（図-9）

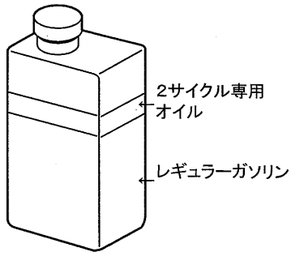
⚠危険	ガソリンは火気に充分注意をして取扱いください。（爆発の危険性があります。）

本取扱説明書と共にエンジン取扱い説明書を十分お読みください。

- 燃料は必ずガソリンに2サイクル専用オイルを混合した混合油を使用してください。
- ガソリンは、自動車用レギュラーガソリンを使用して下さい。
- 2サイクル専用オイルは、JASO（FC,FD級)オイルを使用して下さい。

混合比

ガソリン	：	2サイクル専用オイル
50	：	1



⚠注意	・ガソリンだけで運転するとエンジン焼付をおこします。 ・燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。 ・エンジン運転中又は、エンジンが熱いときに燃料タンクキャップを外したり給油をしないでください。（燃料などに引火して火災の原因となります。） ・燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。（燃料を入れ過ぎると、燃料が漏れ火災や爆発の原因となります。） ・燃料補給した後は、確実に燃料キャップを締めてください。（燃料が漏れると、火災や爆発の原因となります。） ・こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。（衣服の汚れや火災の原因となります。） ・変質した燃料、（酸っぱい匂いがする。）誤った混合比の燃料は使用しないでください。（始動不良や出力不足等のエンジン不調の原因となります。） ・4サイクルエンジン用オイルは使用しないでください。（プラグ汚損やピストンリング固着、マフラー詰まりなどの原因となります。）

H．エンジン始動と停止

エンジンの取扱方法は、エンジン型式毎に若干異なります。
本取扱説明書と共にエンジン取扱説明書を十分お読みください。

⚠危険	・始動は、燃料のある場所や燃料補給の場所から十分に離れて（少なくとも3m以上離れて）行ってください。 ・屋内や換気の悪い場所での運転をしないでください。エンジンの排気ガスは有毒です。排気ガスを吸わないでください。

⚠警告	・エンジンの始動、停止時、移動時は、常にスロットルレバーをアイドリング位置にしてください。 ・レバーがアイドリング位置以外になっていると、刃物が回転し始めてしまうので、非常に危険です。遅れてエンジンが始動する事があります。始動するまで、機械を押えていてください。

⚠注意	・掃除・点検・整備は、安全の為、厚手で丈夫な手袋を着用し作業してください。 ・機体各部を点検し、ねじ類などのゆるみ、グリス・燃料の漏れ，損傷、変形などの異常がないことを確認してください。特に刃物締付ナット・ギヤケース締付ねじはよく調べてください。異常発見の場合は、修理を行ってください。絶対に異常があるまま使用しないでください。 ・エンジン始動時、刃物が回転する可能性がありますので、周囲（機械から15m以内）に人やペットがいないことを確認してください。 ・機体を持ち上げたままで始動しないでください。安定した地面の上で始動してください。 ・スロットルレバーを低速（一杯閉じた）位置にしていても、刃物が回り続ける場合は、エンジンを停止して、スロットルワイヤや、気化器（キャブレタ）のアイドルスクリューを点検してください。 ・掃除・点検・整備は、本機を平坦な場所に置いてエンジンを停止して刃物の回転が止まってから行なってください。また、エンジン停止後は、エンジン本体・マフラー等が高温のため火傷の危険があります。 ・感電によるショックを受ける恐れがありますので、運転中にスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。

●各部の点検（図-10）

① 点火プラグ ---------- ゆるんでいませんか？ 点検してください。

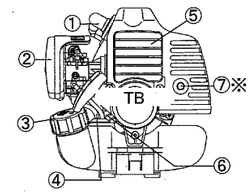
② エアクリーナ ---------- エレメントが汚れていませんか？
きれいに掃除してください。

③ 燃料タンクキャップ---------- 割れ・燃料漏れはありませんか？点検してください。

④ オーバーフローパイプ ---- ひび割れ・亀裂・抜けはないですか？
点検してください。

⑤ 冷却用空気出口----------
⑥ 冷却用空気取入口--------- ゴミ等がつまっていませんか？
⑦ 排気出口---------- きれいに掃除してください。

※⑦排気口はクラッチ側です。



各部のねじはゆるんでいませんか？ 図-10

●スロットルワイヤ（アジャスター）の調整（図-11）

スロットルワイヤの遊びは0．5～1．0mmに調整します。
遊びが多いと始動不良の原因になります。

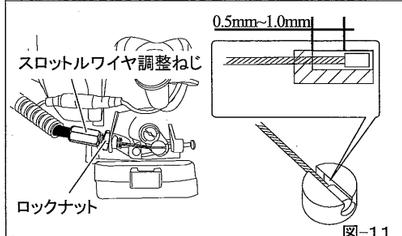


図-11

●始動

1. スロットルレバーを低速（一杯閉じた）位置（アイドリング位置）にします。（図-12）

2. 気化器のプライミングポンプを指で上に当たるまで、ゆっくり10回以上押してください。（図-13）
※ エンジンが暖まっている時（運転を停止後15分まで）は、プライミングポンプ操作は不要です。

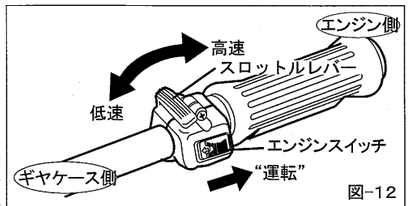


図-12

補足	・このプライミング操作は燃料が無くなるまで運転した場合（ガス欠でエンジン停止した場合）必要になります。 ・本エンジンはプライミングポンプ操作を行なったとき、燃料はタンクに戻る構造になっております。 ・プライミング操作を多く行なっても吸い込み過ぎ状態にはなりません。むしろ少ない場合には始動不良になることがありますので十分に行なってください。

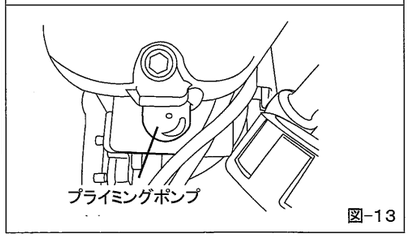


図-13

3. ストップスイッチを“ON”始動位置にします。（図-12）

4. 気化器の始動レバーを倒し、始動の位置にします。(図-14)

補足	・エンジンが暖まっている時(運転を停止後、およそ15分まで)は、始動レバーの操作は、不要です。 (運転位置のままで)

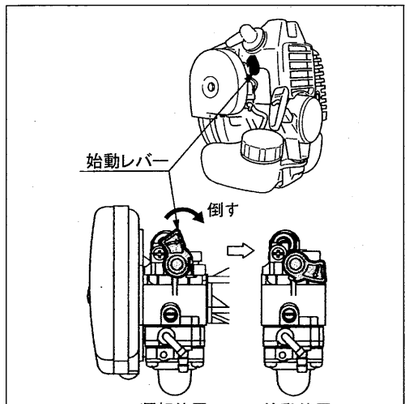


図-14

5. 片手でメインパイプを持ち、背負フレームの下部を踏みつけ、利き手でリコイルを引き始動します。(図-15)

6. リコイルスタータを軽く引き出し、重くなる位置で一旦止め、止めた位置から勢いよく引っ張ります。(図-15)

補足	・引きヒモの2／3以上は引き出さないでください。 ・リコイルのスタータを戻すときは、途中で手を離さず、ゆっくり戻してください。

⚠注意	・リコイルの引き方向が正しくないと、ロープが他部品に干渉し、早期に切れる事があります。

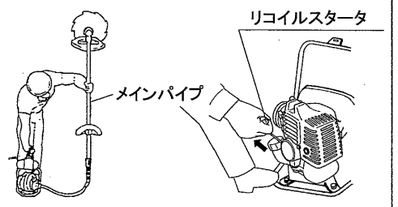


図-15

補足	・4～5回引いて始動しない場合は、始動レバーを運転位置にして、項目5→6の操作を行ってください。 ・初爆(始動しかけたがすぐにエンジンが停止した状態)があった場合も同様に、始動レバーを運転位置にしてリコイルスタータノブを引いてください。

取扱いのポイント

始動レバーが始動位置で何回も始動操作を繰り返すと燃料の吸いすぎとなり、始動困難となります。
その場合には、
①一旦間をおいて始動レバーを運転位置にして始動操作をやり直して ください。
②スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。

7. エンジンが始動したら、スロットルレバーを高速側へ少し操作すると、始動レバーが運転位置に戻ります。

補足	・始動レバーが既に運転位置の場合はこの操作は必要ありません。

8. 始動直後は低速で1～2分、そして徐々に回転を上げて暖機を行ってください。(約2，3分間程度)

⚠注意	・始動直後はエンジン各部に潤滑油が十分まわっておりませんので、急激に回転を上げないでください。 ・スロットルレバーを全開にしますと、かなりの高速運転となりエンジンの寿命に悪影響を及ぼすばかりでなく、故障の原因となりますので、無負荷高速回転(カラ吹かし)はもとより、不必要な高速回転でのご使用は避けてください。 ・始動後は必ず暖機を行ない、アイドリング回転が安定した後、作業を始めてください。 ・暖機しないで高速運転に入ると、エンジンの寿命が低下します。

背負方法 次の順で背負います。(図-16)

① 左手でメインパイプを持った状態で右肩にショルダバンド(肩掛けバンド)をかける。
② メインパイプを右手に持ちかえる。
③ 左肩にショルダバンド(肩掛けバンド)をかける。

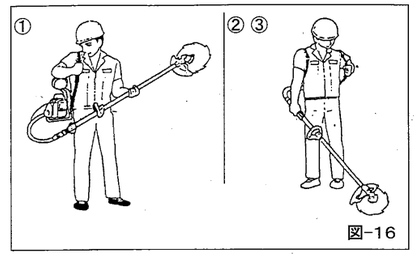


図-16

●停止 (図-17)

1. スロットルレバーを低速(一杯閉じた)位置(アイドリング位置)にします。

2. ストップスイッチを“STOP”の位置にしてください。

⚠注意	高速回転で運転中に急に停止させることは、エンジンに無理がかかり、故障の原因となります。緊急時以外は、スロットルレバーを低速位置に戻してからエンジンを停止させてください。

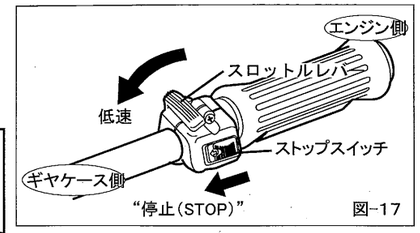


図-17

※ 燃料は最後まで使い切らないうちに補給してください。
次の始動が容易になります。
※ 引続きあとの作業がない場合は燃料タンクの燃料を抜取り再始動して気化器内の燃料を使い切ってください。

⚠注意	・夏期使用中、休憩などで作業機をお使いにならない時は、エンジンを水平に置いてください。 タンクキャップが燃料につかっていると燃料が漏れることがあります。(図-18) ・運転中及び停止直後は火傷防止のためエンジン本体、特にマフラ部に触れないようにしてください。

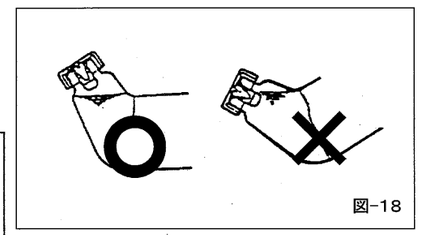


図-18

Ⅰ. 操作方法

⚠ 警告	・金属刃物使用時は、刃物の右半分で草を刈らないでください。キックバック（跳ね返り）が起きやすくなり、対応を誤ると重傷事故を招く危険があります。 ・エンジンが回転すると逆方向に力がかかる場合（スラスト）があります。ハンドル、グリップ等しっかりと握ってください。

⚠ 注意	・作業中、刃物に異物（石など）が当たった場合は、安全のためエンジンを止めて、刃物にひび割れ等がないか確認した後、作業を続けてください。もしひび割れ等異常がある場合は、直ちに作業を中止し、刃物を交換してください。 ・作業を行なう場合は、耳栓、保護めがね、安全靴、手袋、ヘルメットを必ず着用してください。 又、足場はしっかりとした場所を選び、周囲の状況に十分注意を払ってください。 ・エンジン回転数が低すぎると草が巻き付きやすくなるだけでなく、クラッチの早期摩耗の原因となります。 ・ナイロンカッタ使用時は、エンジンの回転を高速にしてください。低速回転で使用するとクラッチが滑りやすくなり、摩擦熱でクラッチが損傷する恐れがあります。

～安全で能率的な作業を次の要領で行なってください～

●ナイロンカッタ（図-19）

・ナイロンカッタのコードは、12～15cmが限度です。
・ナイロンコードは、動力消費が大きい為、作業時のエンジン回転数は、金属刃物使用時の5割増しを目安にしてください。
・ナイロンカッタは、コードの先端部で草を切ります。コードの長さ分いっぺんに刈ろうとすると、回転が落ち切りにくくなります。このような場合は、一旦草から離し、回転を上げてから1回当たりの刈り込み量を浅くしてください。
・ナイロンカッタを左から右へ振りながら刈るようにすると、切りくずが身体から遠ざかる方向へ飛び服の汚れが少なくなります。

●刃物の使い方（図-20）

・刃物を右から左へ振りながら刈ってください。
・能率よく雑草を刈るには刃物径の2／3の範囲を使います。
・エンジンの回転数は、草の抵抗に合わせて調整してください。
・畦草など柔らかい草はスロットル半開程度で十分ですが、密生したヨモギやツル草などは回転を上げて刈るようにしてください。

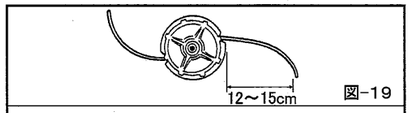


図-19

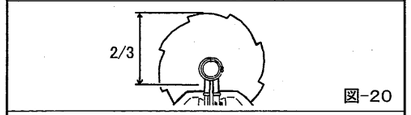


図-20

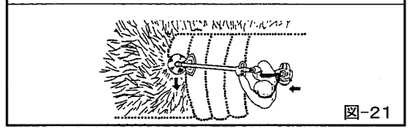


図-21

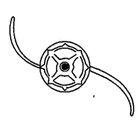
●効率的作業（図-21）

刃物は左回転しますから、右から左へ草を寄せるように刈れば、高効率な作業が行なえます。

取扱いのポイント

・作業はゆとりをもって行なってください。 腕力で振り回したりせず正しい姿勢でバランスを取り、エンジンの回転速度をむやみに上げず推奨する回転速度、毎分6,500～8,000 回転前後（エンジン回転数）を守り、右から左へ掃くように作業してください。
また、刃物は小まめに研摩してください。
・作業後はエンジンを完全に停止してください。停止直後、マフラー部は高温になっておりますので、触れないようにしてください。

●推奨エンジン回転数

スロットル開度	全閉 ← → 全開			
エンジン回転数	5,500	7,000	8,500	10,000
推奨エンジン回転数	6,500～8,000	6,500～8,000	6,500～8,000	8,000～10,000
刃物	チップソー	8枚刃	4枚刃	ナイロンカッタ
				

Ｊ. 気化器（キャブレター）の調整

エンジンの取扱方法は、エンジン型式毎に若干異なります。
本取扱説明書と共にエンジン取扱説明書を十分お読みください。

●アイドリング回転調整（調整は販売店にご相談ください。）（図-22）

エンジンがアイドリングの時に、刃物が回転したり、回転不調とならないように暖機運転後、気化器の低速調整ねじで調整をします。

1. スロットルレバーをアイドリング（低速）位置にします。
2. 低速調整ねじで調整をします。
   ・右回し：　回転速度が上がります。
   ・左回し：　回転速度が下がります。

燃料調整：高速・低速燃料調整ねじの調整は販売店にご相談ください。

⚠ 注意	・気化器の不調、調整は最寄りのお買上げ先へお問い合せください。 ・気化器の調整は、出荷時に最適調整してありますので通常、調整は不要です。むやみに調整しないでください。機械本体及びエンジンの故障、焼付事故を引起こす原因となります。 ・回転を上げすぎないでください。スロットルレバーを戻しても作業機が止らなくなる場合があります。

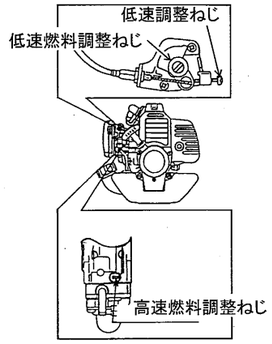


図-22

Ｋ. 手入れのしかた（エンジン）

●運転前の点検・整備

エアクリーナの清掃　⚠ 火気厳禁（図-23）

エレメントを白灯油で洗浄後、エンジンオイルに浸し片手で固く絞ってください。

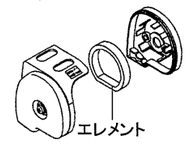


図-23

各部の点検・清掃

マフラー周囲、冷却フィン・冷却風吸込み口の清掃、各ボルトナット類の点検締付け、燃料、グリス漏れの点検。

⚠ 注意	・各通気孔がゴミや異物で塞がると燃料が気化器へ流れなくなりエンジンの始動不良、回転不調の原因になります。

●50時間毎の手入れ

点火プラグの清掃と調整（図-24）

プラグレンチで点火プラグを取外し、電極及びガイシ部に堆積しているカーボンを清掃後、電極スキマを0．6～0．7㎜(官製ハガキ3枚の厚み)に調整します。
プラグの取付けは、ネジ山を壊さないように、はじめに指でねじ込み、次にプラグレンチで確実に締付けてください。

⚠ 注意	・組付時プラグキャップは確実に押し込んでください。

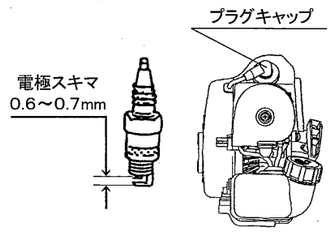


図-24

燃料フィルターの清掃　⚠ 火気厳禁（図-25）

針金などで燃料注入口から引出してきれいな白灯油で良く洗います。
汚れがひどい時は、フィルターを交換の上、燃料タンク内も洗浄します。

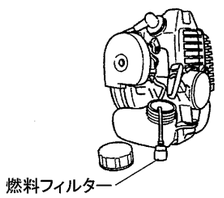


図-25

カーボン清掃

マフラ出入口、シリンダ、ピストンのカーボンを除去します。
この作業はエンジン整備の技術及び道具を要します。
お買上げの販売店又は、最寄りのサービスセンターへご相談ください。

L. 始業点検・定期点検整備一覧表

キヤケースグリースの補給(20時間毎)

①ギヤケース取付ネジ2本を緩めギヤケースをメインパイプから取り外します。(取り外す時は、刃物を外してから行ってください。)

②注入穴よりボルトを抜いてグリースを注入し古いグリースを押し出すように行って下さい。グリスはピニオンからのぞくまで入れてください。

③注入後は、元通りボルト・ネジを組付けてください。

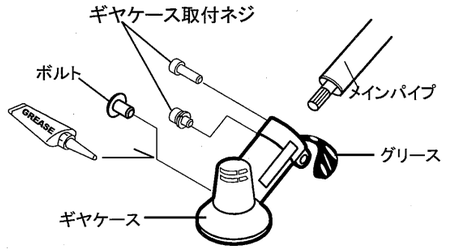


図-26

定期点検整備一覧表	点検整備時間			
	始業点検	作業後	25時間毎	100時間毎
刃物の点検	☆			
刃物締付ナットの締付点検	☆			
ギヤケースの締付ボルトの点検	☆			
セーフティガード(飛散防護カバー)の点検	☆			
各ボルト類の点検	☆			
メインパイプの点検	☆	☆		
ギヤケースの清掃		☆		
ギヤケースグリースの補給			☆	
クラッチドラムの清掃				☆
フレキシャフトのグリース塗布(フレキシャフト仕様の機種のみ)			☆	

⚠ 注意 ギヤケースグリースの補給の際、グリースは、リチウム系万能グリース2号をお使いください。(図-26)

M. 点検・整備

工場からの出荷のときは正しく調整されてますが、使用による摩耗やゆるみ、損傷が生ずるので点検・整備を行ない、損耗の限度を超えた部品、損傷の激しい部品は交換し、刃物のように再研磨のできるものはこまめに整備し正しく使用できる状態にしておきます。

●保　守 (図-27)

作業が終わった後は、カバーCP(刃受金具)を外して内側に入った木くずや草等をきれいにふきとってください。また、ギヤケースやメインパイプも、乾いた布等で、よくふいておきます。

●刃物の目立て (図-28)

刃物を目立てするときは、割れ防止のため、必ず刃のつけ根に丸やすりで丸みを付けてください。

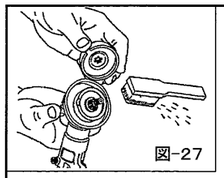


図-27

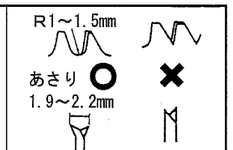
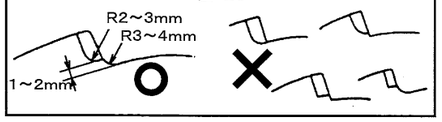


図-28



N. 長期格納のしかた

長期格納をする場合は、つぎの作業をして格納します。

●本機の掃除

1. 泥、ゴミ、雑草などを取除き、汚れをきれいに水洗いして乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
2. 刃物は本機から取外し、泥、草汁などをきれいに水洗いして刃先を研摩してください。

取扱いのポイント
- エンジンは水洗いしないでください。
- エンジンの電気配線部には水をかけないでください。エンジン始動不良の原因となります。

●錆止め

1. メッキのはがれ、発錆箇所はきれいに錆落しをし、防錆処理をしてください。
2. 塗装がはげた箇所は補修塗料を塗ります。

●格　納

1. 燃料タンクの燃料を完全に抜取り、再びエンジンを始動させ、気化器及び燃料パイプ内の燃料を使い切ってください。
2. 点火プラグを外し、プラグの穴より新しいエンジンオイルを少量流し込み、リコイルスタータでゆっくり数回空転させた後、点火プラグを取付け、再びリコイルスタータを引き重く感じる位置で止めてください。
3. エアクリーナなどを点検し、掃除、乾燥させた後、全てを取付けてください。
4. 本機の掃除・点検・整備を終えたら、風通しのよい平坦な乾燥した屋内を選び保管します。
5. 保管の際、機械にチリやゴミが付着しないよう本機にシートをかけておきます。

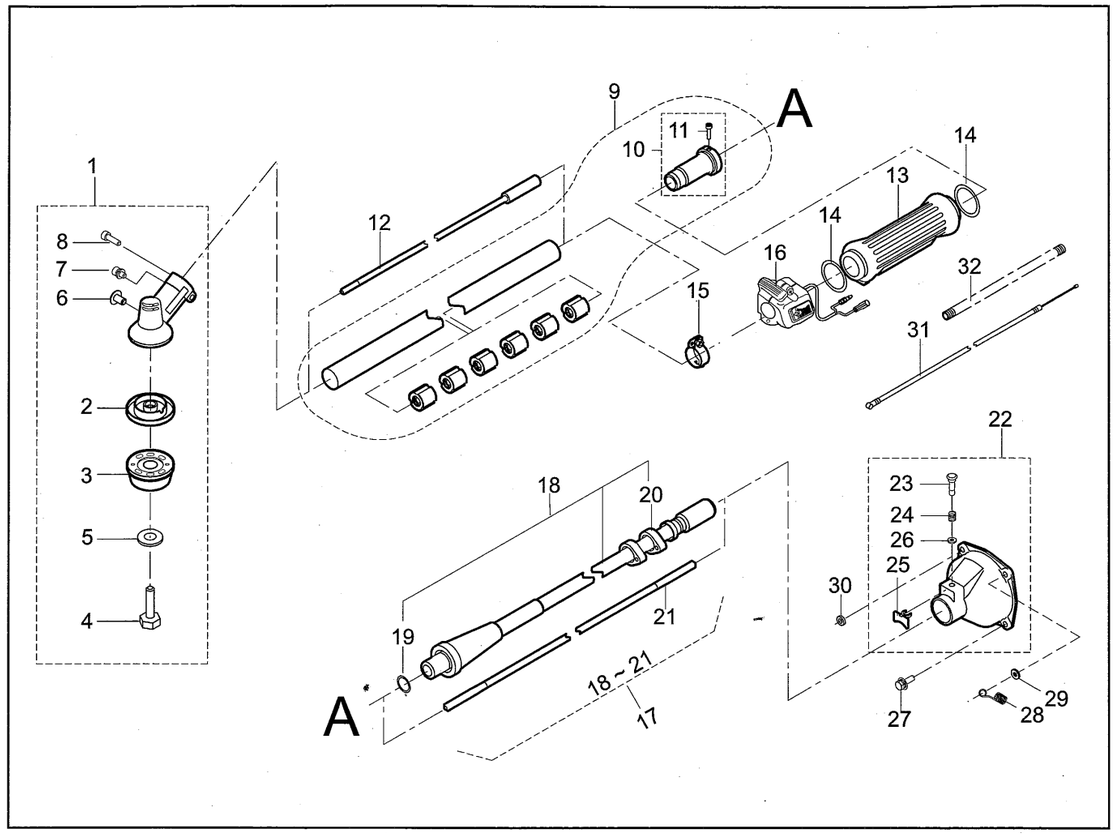
取扱いのポイント
- 錆の発生を防止するため、塩分の強い貯蔵物や肥料と同じ場所に格納するのは避けてください。
- 作業の前後に本機を点検整備し、最良の状態で使うことは能率的で安全な作業につながります。
- 各部のゆるみや脱落がないか点検し、ゆるんでいるところがあれば締め直しておきます。

⚠ 注意 燃料を入れたまま長期間放置すると燃料中の不純物が気化器や燃料フィルタなどの燃料通路につまり、エンジン不調の原因となりますから長期保管時は必ず抜いてください。

O. 故障・修理早見表

	現　象	原　因	処　置	参照頁
本機	エンジンは動いているが刃物が回らない	・エンジンの回転が低い	・回転を上げる	11
		・クラッチシューの磨耗	・点検、販売店に相談	—
		・刃物締付ボルトの締付不良	・点検、締付ける	9
	刈れない	・刃物が取付けられていない	・取付ける	9
		・刃物が回転方向に対して逆に取付けられている	・点検、正規に取付ける	9
		・刃先が磨耗している	・点検、研磨又は交換する	15
	異常振動が出る	・刃物が変形している	・点検、交換する	9
		・刃物の取付けが不完全	・点検、刃受金具・刃押え金具を正しく取付ける	9
		・刃物に草が巻付いている	・取除く	15
エンジン	始動しない	・燃料が入っていない	・燃料を補給する	9
		・燃料の吸い過ぎ	・点火プラグを乾かす	14
		(始動レバーの場合)	・始動レバーを運転位置にし、リコイルを引いてください	11
		・粗悪燃料(異質・劣化)	・新鮮な燃料を補給	9
		・燃料に水の混入	・水抜きする、販売店に相談	—
		・気化器(キャブレター)不調	・点検、販売店に相談	14
		・点火プラグの不良	・点検、清掃、交換する	14
		・高圧コードが外れている	・点検、しっかり接続する	—
		・マフラ排気出口の詰まり	・点検、詰まり除去	14
		・スイッチが始動の位置になっていない	・スイッチを始動の位置にする	10
	始動後回転が上がらない			
		・燃料混合比の誤り	・正規の混合比にする	9
		・燃料に水の混入	・水抜きする、販売店に相談	—
		・気化器(キャブレター)の不調	・点検、販売店に相談	14
	回転は続くが出力が十分でない	・エアクリーナエレメントの汚れ	・点検、クリーニングする	14
		・シリンダ排気孔及びマフラ出入口にカーボンが詰っている	・点検、清掃する	14
		・圧縮不足	・販売店に相談	—
	運転中、回転が次第に下がり停止する	・燃料タンクキャップの空気穴がゴミで詰っている	・点検、掃除する	14
		・燃料系統にゴミなどが詰っている	・点検、燃料フィルタを洗浄する、販売店に相談	14
		・燃料に水の混入	・水抜きする、販売店に相談	—
		・ガス欠	・燃料補給	9

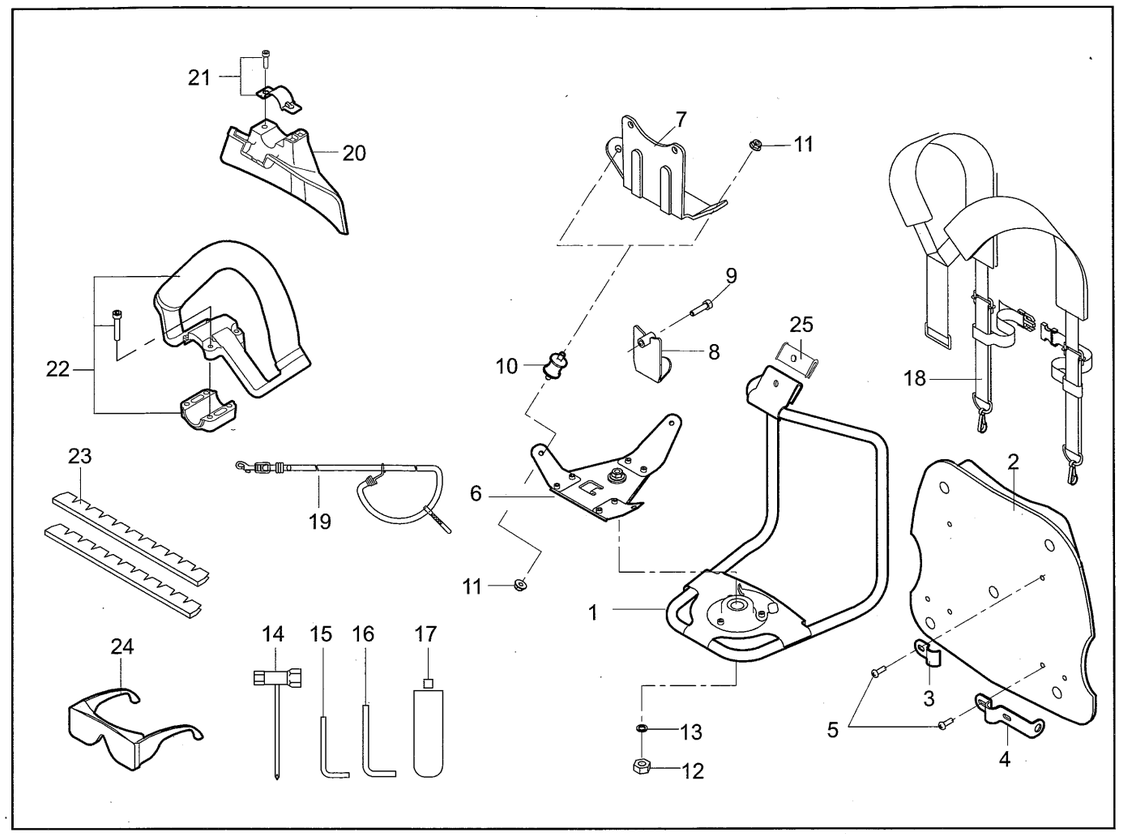
※故障・修理早見表で対応できない場合は、お買上げの販売店へご相談ください。



PARTS LIST
URP260

46012-418-03

本機部				1/2	2009,01.22		
見出番号	部品Lv.	部品番号	部品名称	数量 TB23	数量 TB26	備考
1	1	71008 387 104	ギヤケースASSY	1	1	
2	2	51079 123	カバーCP	1	1	
3	2	11002 147	ホルダB	1	1	
4	2	31054 117	セットボルト	1	1	
5	2	611L 0800	ワッシャ(コガタ)	1	1	
6	2	427N 0810	スクリューソケットボタン	1	1	M8×10
7	2	413N 0510	スクリューソケット(SW)	1	1	M5×10
8	2	412N 0525	スクリューソケット	1	1	M5×25
9	1	71130 215	メインパイプCP	1	1	
10	2	71077 120	フレキコネクタASSY	1	1	
11	3	31054 113	セットボルト	1	1	
12	1	64011 199	メインシャフト	1	1	
13	1	36001 118	メイングリップ	1	1	
14	1	68013 136	スプリング	2	2	
15	1	71012 139	ハンガバンドASSY	1	1	
16	1	71056 249	スロットルレバーASSY	1	1	
17	1	71015 184	フレキASSY	1	1	
18	2	64007 164	フレキケースCP	1	1	
19	3	211B 1600	Oリング	1	1	
20	3	51002 117	ワイヤホルダ	2	2	
21	2	64021 124	フレキシャフト	1	1	
22	1	71010 273 42	クラッチケースASSY	1	1	
23	2	31034 197	ピン	1	1	
24	2	68013 135	スプリング	1	1	
25	2	36065 254	カバー	1	1	
26	2	828V 0400	スナップリング(UTW)	1	1	U形φ4
27	1	416N 0625	スクリューソケット(SW,PW)	4	4	M6×25
28	1	51104 143	ガイド	1	1	
29	1	613N 0600	ワッシャ(ナミ)	1	1	M6
30	1	11083 388	カラー	1	1	
31	1	91001 232	スロットルワイヤ	1	1	
32	1	41003 177	保護チューブ	1	1	



PARTS LIST
URP260

46012-418-03

背負部				2/2	2009,01.22		
見出番号	部品Lv.	部品番号	部品名称	数量 TB23	数量 TB26	備考
1	1	71174 125	フレームASSY	1	1	
2	1	91027 140	背当	1	1	
3	1	11021 101	背当取付金具	2	2	
4	1	11021 105	背当取付金具	2	2	
5	1	315L 0520	ボルトプラス (SW,PW)	6	6	M5×20
6	1	71223 156	サポートASSY	1	1	
7	1	11113 421	ステー		1	
	1	11113 424		1		
8	1	11113 422	ステー		1	
	1	11113 423		1		
9	1	31062 153	プレコートボルト		1	
	1	31062 178		1		
10	1	36005 152	防振ゴム	3	3	
11	1	571L 0600	ナットフランジ	6	6	M6
12	1	513L 1000	ナット(3)	1	1	M10
13	1	661L 1000	ワッシャスプリング	1	1	M10
14	1	66006 127	プラグボックス	1	1	13×19 +ドライバ
15	1	66007 103	六角L型レンチ	1	1	4mm
16	1	66007 104	六角L型レンチ	1	1	5mm
17	1	66011 104	グリス	1	1	50g
18	1	36063 211	ショルダバンド	1	1	
19	1	71133 105	ハンガバンドCP	1	1	
20	1	36046 157	セーフティガード	1	1	
21	1	71038 176	セーフティガードバンドセット	1	1	
22	1	71304 109	シングルハンドルセット	1	1	
23	1	36044 107	移動カバー	1	1	
24	1	91072 104	メガネ	1	1	
25	1	36006 132	アブソーバ	1	1	